

連載 ツールマニアックス TOOL MANIAX

第5回

インスペクターの道具について語ろう!

スペシャル版 株式会社イング -前編-

インスペクターの道具にまつわる偏愛と発見! 何気なく使っている道具に対するこだわりをたっぷりとお話をお伺いしました。

第5回はスペシャルとして、会報誌広告などでも皆さんご存じの賛助会員、株式会社イングさんのお話をお伺いしました。

話し手 株式会社イング 東京営業所 営業部 永木 亮典さん
聞き手 ホームインスペクターズジャパン編集部 三原 広聡

「安全に点検したい」という思いから生まれた製品たち

編集部 いつも「たかみ君」や「マルチ点検カメラ」の広告を拝見しています。INGさんは建築関連の専用道具を制作される会社なのですね。

永木氏 はい。建築作業や点検作業をされる皆さんの現場の声をお聞きして、必要な製品を開発させて頂いています。弊社が企画するというよりは、現場のご要望に合わせて開発するというスタイルです。ハウスメーカーさんとの長い取引の中で製品開発を培ってきた会社ですので、現場の声を集める仕組みがあるんです。ご要望があればワンオフの製品も作っていますよ。

編集部 インスペクション業界とのお付き合いはどういった経緯で始まったのですか?

永木氏 お取引のあるハウスメーカーさんから「地上から安全に効率良く点検が出来ないか」とのご要望があり、点検作業員さんの意向を取り入れながら、何度も改良を重ね完成に至ります。今では様々な点検分野、シーンで多数の方々にご利用頂いております。その中で、JSHIさんの住宅診断にもご利用いただけるのではないかとのお話になりました。

編集部 利便性や付加価値というよりは「安全の確保」が開発のきっかけで今に至っているのですね。インスペクション作業では「危険な作業は行わない」ことが重視されていますのでとても相性が良いかと思えます。

「たかみ君」…進化に通底する「アナログの使命感」



編集部 イングさんという、真っ先に頭に浮かぶのが「たかみ君」ですね。

永木氏 ありがとうございます。「たかみ君」は地上にいないがらにして屋根を点検する機材です。25年ほど前にハウスメーカーさんの依頼で開発がスタートしました。今は「たかみ君6」が現行バージョンとなっています。

編集部 伸縮式のポールの上にカメラが搭載されている

のですね。シンプルに見えるのですが現在バージョン6となると、結構ご苦労されてきたのでしょうか?

永木氏 いやあ…もう、いろいろと(苦笑) 一番苦心させられたのがカメラですね。基本的にカメラ部分はカメラメーカーの既製品を使っているのですが、そちらが廃番になったりするとその都度ソフトやハードを一から作り直すなくてはなりません。初号機から4号機までは有線仕様でしたので断線による破損リスクにも悩まされましたし、Wi-fi仕様となった後も屋外で使う機器としての信頼性向上に時間を掛けてきました。

どなたでも安全に使える機材として横転問題などの解決にも多くのトライ&エラーがありました。が、「よし、これでできた!」という頃にカメラの

機種が廃番になって振出しに戻るんですよ。

編集部 高所の撮影と言えば、最近はドローンなども出てきました。

永木氏 はい。ハウスメーカーさんも独自にドローンのソフトを開発するなど、活用する会社も増えてきましたね。でもドローンにはない利便性がたかみ君にはあると考えますので…我々としてはお客様の選択肢の一つとして「たかみ君」は残していると思っています。アナログを残していく使命みたいなものですね。製品としてはそろそろ完成の域に来ているのかなとは思っています。



【参考】たかみ君による屋根点検撮影の手順

- ① たかみ君をセットして
- ② 高精度カメラで屋根全体を画角に納める
- ③ 不具合部分などを拡大してチェック

機材のプロだからこそそのノウハウがぎゅー!

編集部 軒下などドローンでは高度な操縦技術を求められる部分もあると聞きます。そういえば「たかみ君」のカメラユニットはUFOみたいなかたちをしていますよね。



永木氏 中にカメラ本体を納めているのですが、極力風の影響を受けないようにデザインしています。カメラは下方と正面、およそ90度のチルトと左右175度のパン範囲で撮影が可能になっています。ユーザー様の方からは平均2~4カ所のポイント設置で屋根全体の点検が約30分~60分ほどで行なえると伺っております。

他に特徴を挙げるとすれば「設置して操作まで時間が掛からない」「パン・チルト・ズームを覚えるプリセット操作でお客様へ見せたい箇所に一発でカメラを動かせる」「防雨仕様で多少の雨でも点検できる」などスタンド式で手をそえてするのでお客様に画像を説明しながらの撮影点検が可能といった特徴があります。

編集部 なるほど、ハンドフリーで点検できるとお客様とのコミュニケーションも円滑に行えますね。

永木氏 また、本体のポール部分にはエアダンパーが備わっており、接合部分が緩んで落ちて来た時も手を怪我しにくいように配慮されています。屋外で誰もが安全に使えるように進化してきた製品なんです。

編集部 まさに至れり尽くせりですね。様々なリスクを先回りして、現場の声とイングさんのノウハウで磨き上げられた製品だと感じます。

永木氏 スペック的に追及するのは良いのですが、個人営業のインスペクターさんの装備としては高価な部類に入りますし、ハウスメーカーさんからも個人用装備として作業員分揃えるのは難しいとも言われます。

あと、スタンド式ですのでそこそこ重量もあり、女性がハンドリングするにはつらいところもあると思います。ところで今回は「たかみ君」のお話だけということでしょうか?

編集部 いえ、そういうわけではないですよ。

永木氏 実はその辺の問題の解決を目指している製品があるんです。

編集部 もしかして今、広告を展開している「マルチ点検カメラ」ですか?では前編・後編に分けてご紹介しましょう。今回は「マルチ点検カメラ」について詳しくお聞かせください。

たかみ君6 10m仕様 (iPadは含みません)

通常販売価格 ¥685,000

JSHI会員
キャンペーン特価 ¥450,000
(消費税別・数量限定)

セット内容



ios版選択時のみ:登録用ライセンスコード
Windows版選択時のみ:点検ソフト「たかみ君6」USBメモリ